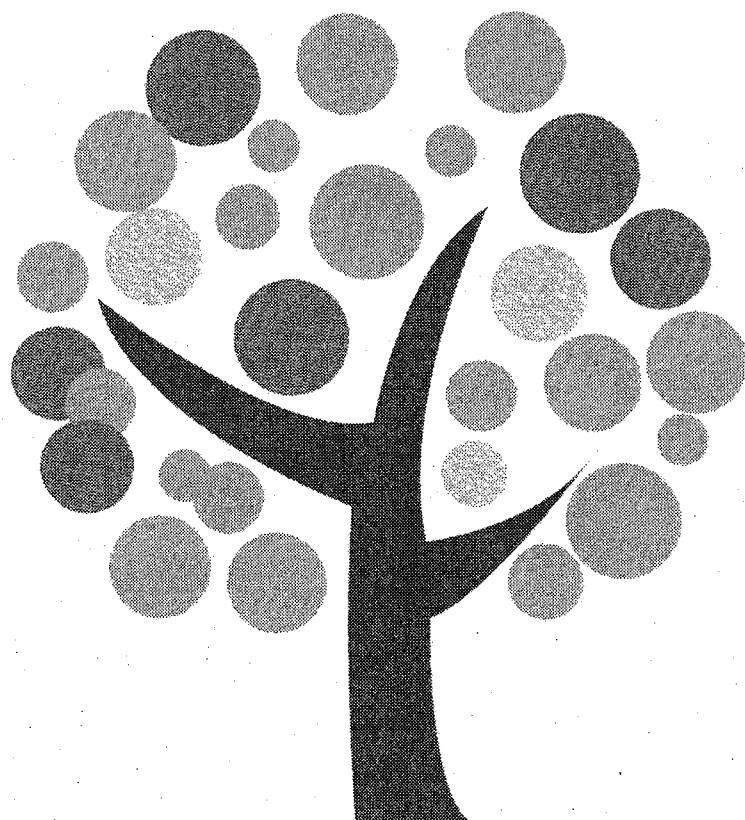


市民公益活動事業補助金

(スタート・チャレンジ補助金)

平成30年度選考会



平成30年5月27日

平成30年度 狛江市市民公益活動事業補助金 応募団体(全6団体)

頁	分類	団体名	事業名	事業内容	申請額
1	スタート	こまえ学習サポートプロジェクト	学習フリースペース	狛江市内には「友だちと集まって勉強できるスペース」がない。そのような場所が欲しいと、青少年会議などで中学生から要望があがっている。学習意欲を持った子どもたちが集まり、友だちと一緒に勉強し、質問があれば答えてくれる大人がいる場所を提供することで、子どもたちの学力の向上・子どもの居場所作り・異世代間のコミュニケーションがはかれることでの豊かな地域作りなど複合的な効果が期待できる。	50,000
2	スタート	子育ての輪	赤ちゃんひろば～あかちゃんのわ～	産後2ヶ月～12ヶ月頃まで特に初産の保護者は、子育てに不安な中、近くに親戚など頼るところもなく育児を始めようとする方が多い。また、『夫が仕事で帰宅が遅い』『出張で不在が多い』などの場合、何日も赤ちゃんを一人で留守にすることが減り、孤独になり社会からも切り離されたような感覚になる。子ども自身が動き回り遊ぶようになることで「子どもを遊ばせる」という目的がなくなり、行く場所が増えるが、ほぼ寝てばかりの時期の赤ちゃんや保護者が日常的に集う場所は少ない。結果、赤ちゃんがハイハイ始める約7～8ヶ月までの期間に、子育てが苦痛と感じる方も少なくない。この事業の目標は、2019年度に毎月1回定期的に「赤ちゃんひろば」を開き、2020年度には「地域子育て支援拠点の一般型」として週3日以上定期開催し、赤ちゃんやママの居場所に特化した場所を作ることである。今年度は、それに向けたステップとして、場所を開く実績と同時にメンバーを集めることを行う。	50,000
3	チャレンジ 新規	狛江市将棋愛好会	狛江市民将棋普及振興大会	狛江市民に将棋を楽しむ機会を提供する。小学生から高齢者までを対象にした将棋の競技会、有段者との指導対局会、大盤使用の詰将棋への挑戦、自由対局等を含めとする。児童生徒には将棋を通じて集中力・思考力・判断力等を付けさせる。大人、高齢者には貴重な日本の文化である将棋を楽しむでもらい世代を超えた対局を実践してもらう。	200,000
4	チャレンジ 継続	狛江視覚障害者の会	ハンディちゃんじクラブ	①共生社会の実現に大きな役割を担う子どもたちに向けて、障がい者を知り理解する機会を提供する。 ②学校現場で行われている「障がい者」を加えて、「障がいを感じる」「体験型・参加型の参加しやすいイベントを実施する。 ③障がい者を「弱い存在」「助けを必要としている人」といった面だけでなく、各々の個性に従って楽しく生き生きと懸命に暮らす姿も知って欲しいと考える。 ④同じコミュニティーで暮らす多くの方に、活動の存在を知ってもらうため、行政と協力してアピールする場を設ける。	200,000
5	チャレンジ 新規	ハンズ・ブレイス	ハンズ・カフェ&講演会&交流会	西河原公民館、あいとぴあ、民間の集会場にて、東京都先進的活動(NPO)を設立、聴覚障がい者のデイサービス、グループホーム、および地域生活支援センターを開催している地域のリーダーを招いての設立までの経緯、反響、思いを語っていただき、カフェの中で交流を通して聴覚障がい者、支援者、一般市民に情報発信をすると同時に、狛江市に合った支援の方法を探っていく。また、地域で活発な活動を展開、生活困窮者の支援を行うNPO団体に参加していただくことで、その手法を見聞きするだけでなく、地域の中で連携し協力しあう体制を作る。	80,000
6	チャレンジ 継続	狛江市邦楽連盟	未来へ続け！児童民謡、舞踊チャレンジ講習会・発表会	日本古来の伝統文化である民謡、舞踊にチャレンジしたい狛江市内の児童を対象に募集し、プロ民謡歌手、舞踊指導者の指導により講習会を実施する。本年はその成果を9月17日「第43回邦楽の集い」にて発表する他、市民まつりステージ、イベント西河原に於いて市民の皆さまに発表する。当講習会を受講した児童たちが、民謡、舞踊を後世に伝え継がれることを期待している。	200,000

スタート補助金の部

こまえ学習サポートプロジェクト

様式第1号 (第8条関係)

市民公益活動事業補助金 (スタート補助金) 申請書

平成30年5月1日

狛江市長あて

申請者 所在地 _____

団体名 こまえ学習サポートプロジェクト

代表者氏名 住友和子

平成30年度市民公益活動事業 (スタート補助金) の交付を次のとおり申請します。

記

- | | |
|---------|-------------------|
| 1 事業名称 | <u>学習 フリースペース</u> |
| 2 事業費総額 | <u>50,000</u> 円 |
| 3 交付要望額 | <u>50,000</u> 円 |

添付書類

- ① 団体概要書 (様式第2号)
- ② 事業計画書 (様式第3号)
- ③ 団体及び補助申請事業の収支予算書 (任意様式)
- ④ 団体の定款, 会則等 (任意様式)
- ⑤ 団体構成員名簿 (任意様式)
- ⑥ その他必要と認める書類



団体概要書

フリガナ	コマエ ガクシユ サポート プロジェクト		
団体名	こまえ学習サポートプロジェクト		
フリガナ	スミ トモ カズコ		
代表者名	住友和子		
所在地 (事務所等)	住所		
	電話		e-mail
	FAX	同上	HP
連絡担当者	フリガナ		(自宅)
	氏名	(代表者に同じ)	(携帯)
	住所	(〒 -)	
	e-mail		
設立年月日	2018年 4月 1日		
設立目的	学習支援に意欲を有する市民と学校とが連携し、 子どもたちには勉強する場所・教える人など 整った学習環境を提供すること、市内の 子どもたちの学習を幅広くサポートする。		
主な活動内容 ・活動実績	学習フリースペース 市内中学校の定期テスト直前の土曜日の午後、地域センター の1室を勉強する場所として子どもたちに開放する。 H.28,29の2年間、社会教育委員の会議の取組 であった。2年間の試行を終え、これを引き続き行う 当団体の主な活動となる。		
主な活動地域	白江市	直近事業年度決算額 (支出総額) 年度	0 円
会員数	14 人 (うち市内 14人)	会費等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (年額・月額) 円

事業計画書(1-1)

1 事業名称	学習 フリースペース
<p>2 事業の目的(事業を実施する前提となった問題点, 社会背景, 期待される効果等を交え, 具体的に記入してください。)</p> <p>白江市内には「友だちと集まって勉強できるスペース」があまりない。そのための場所が欲しい。と、青少年会議などで中学生から要望が来ている。学習意欲を伸ばす子どもたちの集まり、友だちと一緒に勉強し、質問があれば答えてくれる大人のいる場所を提供することで、子どもたちの学力の向上・子どもの居場所作り、異世代間のコミュニケーションがとれることでの豊かな地域作りなど複合的な効果が期待できる。</p> <p>3 事業の内容</p>	
<p>① 実施場所</p> <p>野川地域センター 岩戸地域センター</p>	
<p>② 対象者</p> <p>市内中学生 他、学習意欲を伸ばす小学生・高校生</p>	
<p>③ 告知方法</p> <p>各中学校へのチラシ配布、市報への広告掲載 市内掲示板へのポスター掲示</p>	
<p>④ 具体的内容/事業実施体制</p> <p>市内中学校の定期テストの直前や夏休みなどに野川地域センター・岩戸地域センターの1室を勉強スペースとして開放する。予約の必要はなく出入り自由。食心物の持ち込みは禁止。皆が集中して勉強できるように机の向きなどのルールを設ける。見守りエリアから数学・英語などの教科の質問に答えられる大人を配置する。</p>	

事業計画書(1-2)

4 事業実施スケジュール

○学習フリースペース 定期テスト直前型

中学校の定期テスト直前の土曜日午後の時間帯の野川地域センター・岩戸地域センターの1室を勉強スペースとして開放し、教えるスタッフを配置する。

○学習フリースペース 夏休み集中型

夏休み中の平日5日間(8/6~10予定)、野川地域センター・岩戸地域センターの1室を勉強スペースとして開放し、教えるスタッフを配置する。

5 事業の自己PR

(実施事業について、どういう点が優れているかなどを項目ごとにわかりやすく記入してください。)

	先駆的であり、将来性のある事業であるかどうか。
1	狛江市には学習支援に意欲がある市民が多く存在している。その人材を活用できる場やしくみが無い。この事業により、その人材を活用し、子どもたちに学ぶ場所を提供することで子どもたちの学力の向上や地域コミュニケーションの充実などの効果が期待できる。
	市民のニーズや地域性に適合した特徴のある事業であるかどうか。
2	学習支援はどの地域の子どものために尽力したいという市民のニーズに応え、友だちと集まって勉強したいという子どもたちのニーズに応え、双方にとってプラスになる場・効果を生み出すことができると考える。
	事業計画及び収支予算に現実性があり、自助努力の工夫がなされているかどうか。
3	当事業に不可欠なのは、場所と教える人材の確保。広報の手段で学ぶ場所は地域センターや他、民間の協力を得ることを目指しており、会場費の軽減に努めている。また、現在市庁舎内に設置した広報を主に活用しているが将来的には無料スペースの活用などにより広報費の軽減を事業の実施により相当の効果が期待できるかどうか。(ほかにも)
	短期的な効果としては、学習環境を整えることで、子どもたちの学習意欲を高め、学力の向上につながると考える。
4	長期的には、異世代間コミュニケーションが図られ豊かな地域作りの一助となると期待できる。
	事業を行う団体が、将来自立して活動できる可能性が期待できるかどうか。
5	当団体は、狛江市民の学習支援に対する高い意欲と、子どもたちの学習意欲をマッチングさせて、双方にとってプラスの結果を得ることを目的に活動している。このため、学校や行政と協力し、民間施設の支援も得られる。「資金は大切だが」効果的に機能するシステム・体制を構築したい。

【任意様式】

平成 30 年度狛江市市民公益活動事業補助金

<申請事業収支予算書>

申請事業収支予算書と
団体の平成30年度収支予算書は同一

団体名	こま文 学習サポートプロジェクト
事業名	学習フリースペース

<収入の部>

項目	金額	内容
市民公益活動事業補助金	50,000 円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合計	円	

<支出の部>

項目	金額	内容
会場費	10,000 円	地域センター他会場利用料
印刷費	24,000 円	チラシ、ポスター代
事業保険料	10,000 円	行事保険 1人30円
消耗品費	6,000 円	事務用品 等
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合計	50,000 円	

平成 30 年度活動計画

・学習フリースペース開放

平成 30 年	5月 5日 (土)	岩戸地域センター
	5月 12日 (土)	野川地域センター
	6月 16日 (土)	野川地域センター
	6月 23日 (土)	岩戸地域センター
	9月 22日 (土)	野川地域センター・岩戸地域センター
	11月 10日 (土)	岩戸地域センター
	11月 17日 (土)	野川地域センター
平成 31 年	2月 23日 (土)	野川地域センター・岩戸地域センター

・他団体との意見交換及び協働

子育ての輪

様式第1号 (第8条関係)

市民公益活動事業補助金 (スタート補助金) 申請書

2018年 5月 1日

柏江市長あて

申請者 所在地 _____
団体名 子育ての輪 _____
代表者氏名 花岡 藍子 _____

年度市民公益活動事業 (スタート補助金) の交付を次のとおり申請します。

記

- 1 事業名称 赤ちゃん広場 ~ あかちゃんのわ ~
- 2 事業費総額 50,700 円
- 3 交付要望額 50,000 円

添付書類

- ① 団体概要書 (様式第2号)
- ② 事業計画書 (様式第3号)
- ③ 団体及び補助申請事業の収支予算書 (任意様式)
- ④ 団体の定款, 会則等 (任意様式)
- ⑤ 団体構成員名簿 (任意様式)



団体概要書

フリガナ	コソダテノワ		
団体名	子育ての輪		
フリガナ	ハナオカ アイコ		
代表者名	花岡 藍子		
所在地 (事務所等)	住所		
	電話		e-mail
	FAX		HP
連絡担当者	フリガナ		(自宅) 同上
	氏名	同上	電話 (携帯)
	住所	(〒 -)	同上
	e-mail		同上
設立年月日	2017年 11月 1日		
設立目的	<p>本会は0才児の保護者の居場所をつくり、支援する。 子育てを始めたばかりの保護者の不安や孤独感を解消し、生き生きと子育てができる環境をつくる。地域で子どもを育て、成長を見守る環境を作る。『子どもと過ごすことが心地よい。』と感じる保護者を増やす。</p>		
主な活動内容 ・活動実績	<p>狛江市の後援をいただき、昨年度2月に、試験的に0歳～1歳程度までの赤ちゃんをターゲットとした居場所づくりとして、1回目の『あかちゃんのわ』を開いた。 初回ということで、広報を控えめしたため、利用者は0人だった。しかし、場を実際に開いたことにより、今後必要な物品の洗い出しや、定期的に利用されるための広報の仕方としてイベントを絡めて行うことや、チラシの解りやすい書き方など、検討することができた。また、活動メンバーを増やす事が、最大の課題であり、実績作りと同時進行でメンバー集めを行うことが、今後の展望に向け、今やるべきことが明らかとなった。</p>		
主な活動地域	狛江市内	直近事業年度決算額 (支出総額) 2017年度	0 円
会員数	5 人 (うち市内 5 人)	会費等	無・有 (年額・月額) 円

事業計画書(1-1)

1 事業名称	赤ちゃん広場 ～ あかちゃんのわ ～
2 事業の目的	<p>産後2ヶ月～12か月頃までで特に初産の保護者は、子育てに不安な中、近くに親戚など頼るところもなく育児を始めている方が多い。また、『夫が仕事で帰宅が遅い』『出張で不在が多い』などの場合、何日も赤ちゃんと二人きりで過ごし、『大人と会話する』ということが減り、孤独になり社会からも切り離されたような感覚になる。</p> <p>子ども自身が動き回り遊ぶようになると“子どもを遊ばせる”という目的ができ、行く場所が増えるが、ほぼ寝てばかりの時期の赤ちゃんと保護者が日常的に集う場所は少ない。</p> <p>結果、赤ちゃんがハイハイ始める約7～8か月までの期間に、子育てが苦痛とを感じる方も少なくない。</p> <p>この事業の目標は、2019年度に毎月1回定期的に“赤ちゃんひろば”を開き、2020年度には「地域子育て支援拠点の一般型」として週3日以上定期開催し、赤ちゃんとママの居場所に特化した場所を作ることである。</p> <p>今年度は、それに向けたステップとして、場を開く実績と同時にメンバー集めを行う。</p>
3 事業の内容	
① 実施場所	こまえくぼ1234
② 対象者	<p>0歳～1歳程度の赤ちゃんと保護者</p> <p>“あかちゃんのわ”でボランティアをしたい方</p>
③ 告知方法	<p>チラシ2500枚印刷予定。自治体掲示板と回覧板。市の後援を頂き、市の掲示板へ掲示。公民館・児童館・産婦人科・あいとびあセンターなどにチラシを置く。</p>
④ 具体的内容／事業実施体制	<p>本年度2回実施。両日、赤ちゃんのママ向けのイベントを絡めて開催する。(イベント内容は、事業計画に記入。)</p> <p>また、団体のメンバー募集をチラシに告知し、今後関わりたい方を集める。また、イベント当日の開催場所を“こまえくぼ”にし、当日もボランティアメンバーを集める。</p> <p>当日の場内は、こまえくぼのフリースペースの半分に、ついたてをして仕切りをつくり、床にクッションパネルマットを12畳分敷く。赤ちゃん布団や座布団、ローテーブルなどを置き、別室にはおむつ替えスペースと授乳スペースを作る。</p> <p>《実施体制》・スタッフは常時2名以上(うち一人は当団体の代表で、世田谷ひろば事業のスタッフをしている花岡。もう一人は子育て経験のあるママスタッフ)</p> <p>・こまえくぼ1234と共催(仮決定)。狛江市の後援依頼を予定。</p>

事業計画書(1-2)

<p>4 事業実施スケジュール</p> <p>実施予定日時：① 10月4日(木) 10時～15時(準備；9時半～。撤収：～16時まで。)</p> <p style="padding-left: 2em;">イベント内容『赤ちゃん楽ちんダッコ術!』(午前中の1時間程度)</p> <p style="padding-left: 2em;">講師は、“子育て支援グループ@あみーご”の代表の石山恭子さん。</p> <p style="padding-left: 2em;">※イベント終了後に来た方には、スタッフが“ダッコ術”伝授。</p> <p>②11月15日(木)10時～15時(準備；9時半～。撤収：～16時まで。)</p> <p style="padding-left: 2em;">イベント内容『赤ちゃんのスタイや帽子、編み物おしゃべり会』(かぎ針)</p> <p style="padding-left: 2em;">かぎ針の講師は、編み物好きの先輩ママ。</p>	
<p>5 事業の自己PR</p>	
1	<p>先駆的であり、将来性のある事業であるかどうか。</p> <p>子育てがスタートしたばかりの2ヶ月～7か月頃までの間の保護者の居場所を作り、不安と孤独を解消することは、出生率を上げることにもつながる。また、子育てが辛くなり職場復帰を急ぐ人が減り、待機児童解消を助けることにも繋がる。そして、保護者自身が幸せだと感じ笑顔で子育てできる環境は、よりよい未来にするために大事な事業になる。</p>
2	<p>市民のニーズや地域性に適合した特徴のある事業であるかどうか。</p> <p>他市区町村では、『子育て支援拠点事業(通称：ひろば事業)』をいくつかの民間の団体が受託し、様々な雰囲気運営されている。そのため、多様な価値観に対応し、保護者が自分に合った場所を選ぶことができ、赤ちゃん連れに向いている環境では、産後のママの居場所となり支援している。小規模の民間が作れるアットホームな『ひろば事業』で赤ちゃんともママの居場所に特化した事業を行うことは、狛江で多様な価値観に対応でき、これまで行き届かなかった支援ができる。</p>
3	<p>事業計画及び収支予算に現実性があり、自助努力の工夫がなされているかどうか。</p> <p>昨年度、『多摩里』で開催した結果、クッションマットが必要となった。講師料は、講師団体の料金基準に準ずる。その他、使用する物品は個人所有の物を使う。</p>
4	<p>事業の実施により相当の効果が期待できるかどうか。</p> <p>これまで、0才児の保護者対象のイベントというものは、狛江ではほぼない。世田谷で開かれるこのようなイベントには、多くの参加者がおり、狛江でもニーズはあると感じるが、運営者がいなかったのだと思う。また、ボランティアメンバーの募集は、この事業を進める上で重要なものであり、イベントに絡めることで広い告知が期待できる。</p>
5	<p>事業を行う団体が、将来自立して活動できる可能性が期待できるかどうか。</p> <p>厚生労働省の『地域子育て支援拠点事業』の一般型(子育ての知識と経験のあるスタッフ2名の配置・週3日以上開設などの条件)として行うことで、国や東京都から各自自治体へ補助金がでる。実績を作り、行政から信頼を得ることで、国や都の補助金により定期で事業が可能になる見込み。</p>

【任意様式】

平成30年度狛江市市民公益活動事業補助金

＜申請事業収支予算書＞

申請事業収支予算書と

団体の平成30年度の収支予算書は

同一

団体名	子育ての輪
事業名	赤ちゃん広場 ～あかちゃんのわ～

＜収入の部＞

項 目	金 額	内 容
市民公益活動事業補助金	50,000 円	スタート補助金
子育ての輪から	700 円	
	円	
	円	
	円	
合 計	50,700 円	

＜支出の部＞

項 目	金 額	内 容
10月4日分 講師料	30,000 円	おんぶと抱っこの講座
物品購入費	16,200 円	クッションマット12畳分
広報費	4,500 円	チラシ印刷代2500枚分
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合 計	50,700 円	

チャレンジ補助金の部

狛江市将棋愛好会

平成30年 4月 12日

狛江市長 高橋 都彦殿

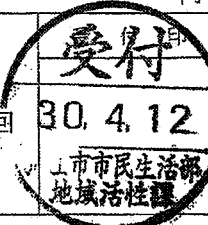
団体名 狛江市将棋愛好会

代表者名 深井秀造

市民公益活動事業補助金（チャレンジ補助金）申請書（30年度）

事業名称	狛江市民将棋普及振興大会				
実施時期（予定）	平成30年8月5日				
交付要望額	2	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色や期待される効果等）	狛江市民に将棋を楽しむ機会を提供する。小学生から高齢者までを対象にした将棋の競技会、有段者との指導対局会、大盤使用の詰将棋への挑戦、自由対局等を内容とする。 児童生徒には将棋を通じて集中力・思考力・判断力等を付けさせる。大人、高齢者には貴重な日本の文化である将棋を楽しんでもらい世代を超えた対局を実践してもらおう。				

申込団体概要

団体名	狛江市将棋愛好会				
代表者名	深井秀造				
所在地 （事務所等）	住所				
	電話		e-Mail		
	FAX	同上	HP		
連絡担当者	氏名	代表者に同じ		電話	
	住所	(〒 -) 代表者に同じ			
	e-Mail	代表者に同じ			
会員数	97名（市内73名）	会費等	・有（年額・）	¥2,000 円	
主な活動地域	狛江市民センター	直近事業年度決算額 （支出総額） 29年度	¥251,854 円		
主な活動実績	定期対局会；毎日曜日4時間；年間50回 大会開催；市民大会8月；年1回、会員大会；1回 女性児童大会；年1回。高齢者施設訪問対局；年間60回 公民館イベントへの参加；年4回				

狛江市将棋愛好会年間活動実績（平成28年・29年）

① 定期対局会：毎週日曜日 13：00～17：00 中央公民館

年間：50回

② 中央公民館・西河原公民館のイベントに参加

年間：4回

③ 将棋大会の開催：狛江市民将棋大会：8月：年1回

：狛江市将棋愛好会会員将棋大会：11月：年1回

：同上、子供・女性対象の将棋大会：4月：年1回

④ 高齢者施設（こまえ苑他）への訪問対局：ボランティア活動。

年間：60回：社会福祉協議会からの要請による。

⑤ 身障者宅への訪問対局（2～3名）：ボランティア活動。

年間：30回：社会福祉協議会からの要請による。

狛江市将棋愛好会

⑥ 子供食堂における子供将棋教室：ボランティア活動

年間：15回：社会福祉協議会からの要請による。

狛江市将棋愛好会

狛江市将棋愛好会

○本事業の目的:500年の歴史をもつ貴重な日本の文化である今の将棋を一人でも多くの狛江市民に楽しんでもらう事を目的とする。

○本事業の概説:「狛江市民将棋大会」は狛江市将棋愛好会が主催、市当局と市教育委員会の後援を得て狛江市民将棋大会を企画、とりわけ市内の児童や高齢者に将棋を楽しむ場を提供する。具体的には、この将棋対局会を当会の有段者等が指導管理し、また同日は大会参加者の棋力別競技大会を行い、当愛好会から参加者、優秀者には賞状・賞品・参加賞等を提供する。(この将棋大会参加者からは大人一人1,000円、小中学生一人500円を徴求する予定)

(事業計画書)

平成30年8月5日(日) 午前10時から午後5時まで中央公民館

ホールを使い狛江市市民将棋大会を開催する。

少年少女、一般大人、中高年等広く市民の参加を求めた将棋の集いとする。当日は狛江市将棋愛好会の有段者が指導対局するほか、大盤による初心者詰将棋コーナーや棋力別(3段階)に分かれた将棋対局競技大会を行う。各段階の優秀者には賞状・賞品で表彰し、競技参加者全員に参加賞を進呈する。

補助金申請事業の収支予算書

狛江市将棋愛好会

将棋大会 (単位 円)

収入の部		支出の部	
内容	金額	内容	金額
チャレンジ補助金上限額	200,000	① チラシ・ポスター費用(市内六小学校他に	30,000
大会参加費(大人1,000×35人子供女性500×30人)	50,000	② 配付。	
狛江市将棋愛好会拠出金	10,000	対局時計代(大会競技会使用5個購入)	65,000
		木製簡易将棋盤(準決勝以上に使用)	22,500
		木製手書き駒(準決勝以上に使用)	15,000
		事務関係費(資料コピー代、事務用品)	10,000
		優勝カップ代(大会優勝者・持ち回り)	35,000
		優勝カップ代(レブルカ)	5,000
		賞品賞状・参加賞代(日本将棋連盟賞状)	45,000
		図書カード代他(主の少年少女に)	30,000
		予備費	2,500
合計	260,000		260,000

狛江市将棋愛好会

平成30年度 収支予算書

狛江市将棋愛好会

(単位 円)

収入の部		支出の部	
内容	金額	内容	金額
2018年会費収入*	150,000	対局会場使用料*	30,000
狛江市民将棋大会参加費収入	50,000	狛江将棋大会賞品代*	50,000
チャレンジ補助金	200,000	優勝カップ・レブリカ・トロフィー代	40,000 (6)(7)
前年度会費からの繰越金*	61,598	会員限り大会用カップ・トロフィー代*	35,000
		対局時計×5台	65,000 (2)
		木製駒・簡易盤×5セット代	37,500 (3)(4)
		切手代(書類・資料郵送)*	10,000
		ポスター・チラシ費用(市内六小学校他配布)	30,000 (1)
		事務用品代	10,000 (5)
		賞状(日本将棋連盟)・賞品・参加賞代	45,000 (8)
		図書カード代(子供・女子大会用)	30,000 (9)
		大会予備費	2,500
		時期会費への繰越金*	76,598
		*印は会通常経費	
合計	461,598		461,598



< 狛江市民将棋大会のお知らせ >

みんなで楽しく将棋を楽しみましょう！

お子様から中高年までどなたでもご参加下さい。
指導対局、大盤使用の詰将棋挑戦、棋力別将棋
競技大会で腕試し等たくさんのイベントがあり
ます。優秀者には賞状・賞品、参加者全員に参
加賞が出ます。(参加費：大人 1,000 円小学生・女性 500 円)

お気軽にご参加下さい。

◎日時：平成 30 年 8 月 5 日 (日)

午前 10 時～午後 5 時

◎場所：中央公民館地下ホール

*競技大会の参加人数 主催 狛江市将棋愛好会

は当日検討します。 後援 狛江市

後援 狛江市教育委員会

*参加申し込み連絡先： (深井)

*参加申し込み連絡先：

“好き”が つながる! 広がる!

「泣く子がさらに泣く」
ハイパー・エンターテインメント主婦集団

コマエンジェル



コマエンジェルは、主に40代、市内在住の主婦集団です。結成は2006年。殆どのメンバーは、過去にダンスや芝居の経験があります。あの頃の熱気を感じたい、弾けたい、何かしたい、といういつもの想いが集まり爆発したのが、コマエンジェルです。そのダンス、歌、お芝居は、アマチュアのレベルをはるかに超えています。全国区のテレビでも何度か紹介され、市外での単独公演も行い、昨年は、銀座博品館劇場での公演も、満席の大成功を取めました。

彼女達は、“おばさん”であることを武器にして、羽目を外しきったパフォーマンスをします。しかし、観る側は、その奥に“美”を感じることが出来るでしょう。汗水流した上に築き上げた、揺るがない美がそこにあります。

週に1度の練習では、リーダーの平美和さんを中心に、細かく丁寧に、演出を詰めていきます。観る人に絶対に良いものを届けようとする気持ちで、中毒性のあるショーを生むのです。

すでに多くのファンもいますが、彼女達の主戦場は、あくまでも、それぞれの家庭や仕事。できる範囲での活動を大切にしています。

コマエンジェルの公演予定は、ウェブサイトやフェイスブックから確認できます。

何かに悩んでいる時や、壁を乗り越えようとしている時は、コマエンジェルのショーを観ることをお勧めします。前に進むための大きな力を得ることが出来るでしょう。



世代を超えた交流を一緒に!

狛江市将棋愛好会

現在会員は94名です。毎週日曜の午後、中央公民館で対局会を行っています。中高年男性を中心に有段者も在籍し、女性も10名、藤井六段ブームもあり小学生会員も35名おります。最高齢の方は92歳、世代を超えた交流を賑やかにしています。



この会は、「日本の貴重な文化」である将棋の普及と、特に子ども達へ継承する事を目的としています。

将棋の歴史は古くインドに端を発し、平安時代に日本へ伝わったとされ、現在に至るまでに、礼節を重んじる三つの「礼」を育みました。それは「始めの礼」「負けを宣言する礼」「互いに対局を振り返り感謝する礼」です。強い人ほどこの「礼」を尽くし謙虚なのです。

小学生が中心のジュニアの部では、これらの礼節と共に、対局で養われる集中力、判断力、実行力、反省の心なども身に付けて欲しいと、懇切丁寧な指導を心掛けています。

会員の方の中には障がいや持病を抱えている方もいらっしゃいますが、真剣勝負の中にも楽しく対局をしています。

現在、市内高齢者施設や、子どもの食事を支援する団体への訪問対局も、好評を得ています。

毎年夏に中央公民館で開催している狛江市将棋大会は、大盛況です。今年も8月に開催する予定ですので、奮ってご参加下さい。

会員は、随時募集しており、外国の方も大歓迎です。ぜひ一緒に将棋を楽しんでみませんか。



気になる KOMAE

和泉多摩川駅から狛江駅に向かって高架沿いを歩いていると、100m以上もの花いっぱい花壇が広がっています。数年前は植え込みにゴミが散乱していましたが、今では、保育園の子どもたちのお散歩コースにもなっている、癒しの側道「ふれん通り」をご紹介します。平成20年度からこの花を植える活動に取り組んでいたのは、なんと狛江市立狛江第三中学校の全校生徒たち。年に2回、6月と11月の「和泉の日」に全生徒が一丸となって活動をしています。狛江駅前のプランターの植栽にも取り組み、今年は園芸部も発足し、より植物の大切さを学んでいます。またこの活動を通じて、地域の方々との交流も増えているそうです。



あなたのやりたいこと「この指とまれ!」で開催しませんか?

東京都ボランティアリーダー会
各種施設・回りで、出張鉄道イベント行います

高齢者施設、保育園、幼稚園、児童館、障がい者施設等に向いて鉄道イベントを行っています。運転手体験や駅員体験もできますよ。

鉄道好きな人達が、「好きをボランティアにつなげたい」という思いで始めた体験型レクリエーションです。ぜひお声掛けください。代表 大竹宏直さん

WEB: <http://www.tvr-group-in-tokyo.com>

TEL: 080-7960-1401 (代表: 大竹宏直)

出張! 鉄道模型ミニ運動会 in Komae City!

日時: 3月25日(日)

10:00~15:00

会場: こまえくぼ1234

小田急線高架下のこまえくぼ1234で、鉄道を走らせます!

予約不要/入場無料 (都内保育園でイベントを行った際の赤字)

(運転体験等、一部有料プログラム有)/Nゲージ運転体験、プラレール、制御着用記念撮影、キーホルダー・レジンアクセサリー販売など。

3月25日(日) 10:00~15:00

会場: こまえくぼ1234

小田急線高架下のこまえくぼ1234で、鉄道を走らせます!

予約不要/入場無料 (都内保育園でイベントを行った際の赤字)

(運転体験等、一部有料プログラム有)/Nゲージ運転体験、プラレール、制御着用記念撮影、キーホルダー・レジンアクセサリー販売など。

みつけた♪

狛江からちょっと国際協力! スパイス購入で!

ESAは、バングラデシュとインドの子どもたちが貧困と差別を乗り越えるための教育支援を行っている認定NPO法人です。

狛江駅からほど近い事務所の扉を開けると、スパイスの香りが広がります。法人の理念、そして支援の仕組みをお聞きしました。



「教育こそが人間の尊厳を守り、貧困と差別を克服する大きな力になる。」と考えています。1979年からバングラデシュ・インドで紅茶農園、極貧の村、都

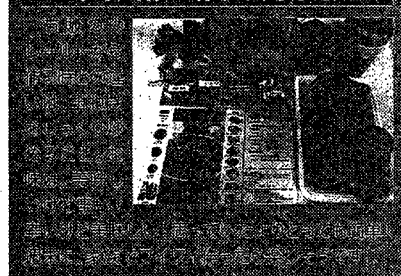


ESAオリジナルスパイスミックス 300円~450円

会のスラムで16の学校や幼稚園などの運営を現地パートナー団体と協働して2000人の子ども達を支援しています。

私達もこの活動に参加できる方法があります。「ESAオリジナルスパイスを2袋購入することで、1人の子どもが1ヶ月学校に通う支援ができるのです。商品はESAの事務所ボランティアスタッフが袋詰めしています。このボランティアも募集しています。」

チキンレー作ってみました!



是非! 美味しく国際協力してみませんか?

認定NPO法人 ESAアジア教育支援の会

<https://www.esajapan.org/> TEL: 03-5497-2261

東京都目黒区23-3-30 (いづみ台)

平日 10:00~17:00

粕江視覚障害者の会

平成30年5月7日

狛江市長 高橋 都彦 様


団体名 狛江視覚障害者の会

代表者 伊藤 聡子

市民公益活動事業補助金（チャレンジ補助金）申請書（平成30年度）

事業名称	ハンディちゃれんじクラブ					
実施時期（予定）	平成30年6月末から12月					
交付要望額	2	0	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色や期待される効果等）	① 共生社会の実現に大きな役割を担う子どもたちに向けて、障がい者を知り理解する機会を提供します。 ② 学校現場で行われている「障がいを学ぶ」に加えて、「障がいを感じる」体験型・参加型の参加しやすいイベントを実施します。 ③ 障がい者を「弱い存在」「助けを必要としている人」といった面だけでなく、各々の個性に従って楽しく生き活きと懸命に暮らす姿も知って欲しいと考えています。 ④ 同じコミュニティーで暮らす多くの方に、活動の存在を知ってもらうため、行政と協力してアピールする場を設けます。					

申込団体概要

団体名	狛江視覚障害者の会					
代表者名	伊藤 聡子					
所在地 （事務所等）	住所					
	電話			e-Mail		
	FAX			HP		
連絡担当者	氏名				電話	
	住所					
	e-Mail					
会員数	16 人（うち市 15 人）		会費等	有（年額）		1,000 円
主な活動地域	狛江市内		直近事業年度決算額 （支出総額）平成29年度	245,610 円		
主な活動実績	① 視覚障がい者体験「暗闇レストランへようこそ！」開催 ② 視覚障がい者間の親睦会開催 ③ こまえくぼ1234と共催の福祉講座へ講師を派遣					受付印
						

【任意様式】

平成30年度狛江市市民公益活動事業補助金

＜申請事業収支予算書＞

団体名	狛江視覚障害者の会
事業名	ハンディチャレンジクラブ

＜収入の部＞

項目	金額	内容
市民公益活動事業補助金	200,000 円	
寄付金	16,788 円	
	円	
	円	
	円	
合計	216,788 円	

＜支出の部＞

項目	金額	内容
初期設備支出	73,564 円	詳細別紙添付
小学校低学年編	36,124 円	詳細別紙添付
力を合わせて編	15,420 円	詳細別紙添付
就学前児童編	27,920 円	詳細別紙添付
狛江市障がい者週間事業へ参加	63,760 円	詳細別紙添付
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合計	216,788 円	

..... 遊び・体験・気づき

ハンズアイ ちゃれんじクラブ(案)

子どもは遊びの天才です。遊びの中から多くの事を学び獲得します。『ハンズアイ ちゃれんじクラブ』は、子どもたちに障がい者について教える場ではありません。気軽な遊びのルールとして障がい者のおかれている環境を体験し、気づきの切っ掛けを提供いたします。「遊び・体験・気づき」を基本コンセプトに展開します。

昨年、視覚障がい者体験「暗闇レストランへようこそ！」を、大人向けに開催しました。『ハンズアイ ちゃれんじクラブ』は、その子ども版であり、『この街で障害者と共に暮らすために！』プロジェクトの一環として取り組んでまいります。

これまでの障がい者支援活動が、質や効果において十分その役割を果たしてきており、私たちの企画によりこれまでの取組に取って代わろうとするものでないことを、改めて申し添えたいと思います。

2018年5月1日

狛江市視覚障害者の会 会長 伊藤聡子

企画の背景

- 1) すべての人が共に生きる社会を求めて、様々なイベントが開催されています。しかし、なかなか人が集まらない現状も見受けられます。
- 2) 障がい者は、辛い毎日を過ごしているのではなく、それぞれの障がいと向き合いながら、楽しく活き活きと暮らしたいと願っている方がいます。
- 3) 2017年に障がい者の暮らしを体験する会を、大人向けに開催したところ、ご好評をいただきました。参加者のアンケートでも、子ども向けに同様の開催を望む声がよせられました。(暗闇レストランへようこそ！)
- 4) 学校現場でも障がい者理解の教育が進んでいます。「知る」という知識としての障がい者教育は進んでいる反面、実際の障がい者を体験するにはデリケートなこともあり、更なる工夫が求められています。

基本方針

- 1) 共生社会の実現に大きな役割を担う子どもたちに向けて、障がい者を知り理解する機会を提供します。
- 2) 学校現場で行われている「障がい者を学ぶ」に加えて、「障がいを感じる」「体験型・参加型の参加しやすいイベントを実施します。
- 3) 障がい者を「弱い存在」「助けを必要としている人」といった面だけでなく、各々の個性に従って楽しく活き活きと懸命に暮らす姿も知って欲しいと考えています。
- 4) 同じコミュニティで暮らす多くの方々に、活動の存在を知ってもらうため、行政と協力してアビールする場を設けます。

コンセプト

障がい者の住みやすい社会は、全てのの人にとっても住みやすい社会であることを理解し、全ての人が共に暮らせる社会を目指します

- ① 遊びのルールとして、障がい者の置かれた制限(ハンディ)を子どもにも体験してもらいます。
- ② 楽しく遊びながら、子どものモチベーションを維持し能動的に課題へ取り組みむことができます。
- ③ 参加しやすく間口を拡げ、これまで関心の薄かった子ども達の参加を促します。

遊び

体験

気づき

- ① 知識としてではなく、心と身体で体験することを基本に、障がいについて考える出発点にします。
- ② 正しい答えを提供するのではなく、幾つかの選択肢から、その子なりの答えを出せる余地を残します。
- ③ 与えられた制限(ハンディ)を乗り越え、課題をクリアすることで、自分が壁に直面した時、それに立ち向う勇気を持って欲しい。

何に気づいて欲しいの...？

障がい者の暮らし、障がい者の世界が特別なものでなく、すぐその隣人の暮らしと、何ら変わらないと言おうことを感じ気付いてくれることを目指します。

「ハンディちやれんじクラブ」の概要

主要開催組織

主催：狛江市視覚障害者の会
共催：狛江市（福祉保健部高齢障がい課）要請中
（企画財政部オパラ担当）要請中
狛江市障害者団体連絡協議会 要請中
協賛：狛江市社会福祉協議会（こまえくぼ1234）
実働部隊：ハンディちやれんじクラブ実行委員会

- ①実行部隊として委員会を立ち上げます。「暗闇レストラ
ンへようこそ！」の協力者に参加を要請します。広報など
を通して広く一般市民に参加者を募ります。
- ②運営資金として、審査で承認を受けることが必要ですが、
「狛江市市民公益活動事業補助金」（市民生活部地域
活性課）を申請する予定です。

対象のお客様

未就学児（4歳～6歳）から小学校低学年（6歳～9歳）
①初年度は、未就学児（4～6歳）と小学生低学年を対象とし、
集中してこの年代層に向けたプログラムを開発します。
②未就学児、小学校低学年を対象にしたイベントを実施して、
メニューや運営ノウハウを積み上げ、来年度に小学校高学
年や中学生に広げていきます。

チャレンジするハンディの内容

視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由者

- ①初年度は、視覚、聴覚、肢体不自由に絞ってメニュー開発を
進めます。
- ②2020年度に向け、イベントを開催しながらノウハウを蓄積し
て、知的障がい・精神障がいのメニューへと広げていきます。

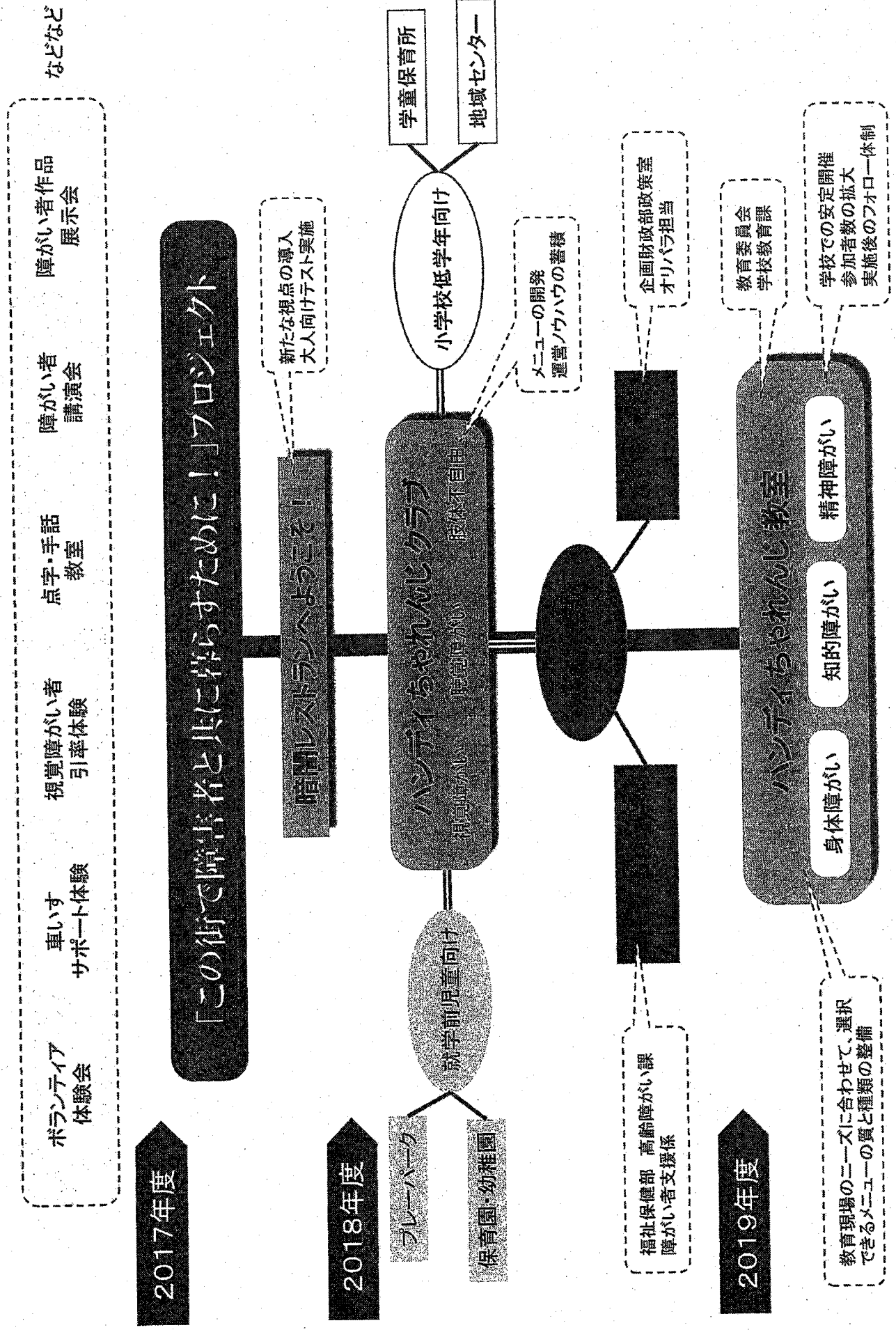
今年度到達目標

- 幼保園・学童・地域センターで開催しながら
狛江市の障がい者週間への参加を目指します
- ①初年度は、ノウハウの蓄積と共生社会実現に向けた
活動の存在をアピールしてまいります。
 - ②2020年には小学校での実施を目指します。
▶実施するのに必要な設備環境が整っています。
▶同じ年齢層の子どもを集めやすい。
▶気づいたことや疑問に感じたことなど、チャレンジ実施
後のフォローが可能です。
▶障がい者教育として学校サイドのニーズが高い反面、
障がいを体験させるノウハウが不足しています。

プログラムのパッケージ化

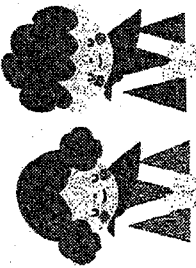
- 【パッケージ】 ④幼保園用 ⑤小学校低学年用
【ハンディ】 ⑦視覚障がい ⑧聴覚障がい ⑨肢体不自由
- ①開催者様がメニューをチョイスできるよう、プログラムをパッ
ケージ化します。
 - ②カテゴリー2はそれぞれ2～3のメニューを用意します。実行部
隊として委員会を立ち上げます。
 - ③一つの枠に多くの種類のハンディキヤップを詰め込んで子ど
もたちが混乱するのは避ける必要があります。
 - ④1時間から1時間30分くらいで行えるようにパッケージ化したい。

「ハンディちやれんしクラブ」全体構想マップ



今日のミッション

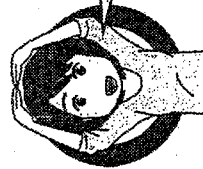
ゲーム ストーリー



二人一組で、
迷子になったうちのネコ
「ミケ」を探してください

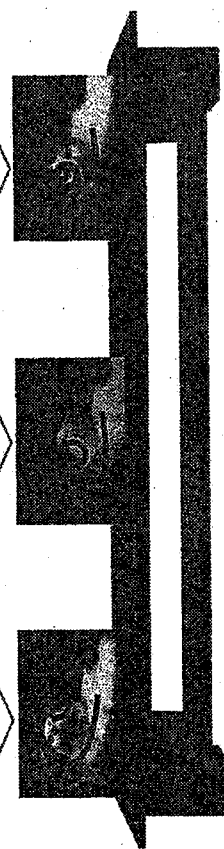
「ミケ」がどのようなネコかわかりません。3つの関門があり、それぞれの関門をクリアすると、「ミケ」の情報もらえます。その情報から、3匹のネコのうちから「ミケ」を探して、バスケットの番号をカードに書いてください。

- 第1関門獲得情報 → 「ミケ」のお腹は白いです
- 第2関門獲得情報 → 「ミケ」の右目は黒縁です
- 第3関門獲得情報 → 「ミケ」は赤い首輪をしています



まいこの「ミケ」はどのネコでしょう

- Aバスケット
お腹白く左目黒縁
赤い首輪のネコ
- Bバスケット
お腹白く右目黒縁
赤い首輪のネコ
- Cバスケット
お腹白く右目黒縁
青い首輪のネコ



【第1関門】暗闇の森

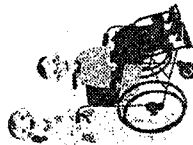


暗闇の森で離れればなれたアイボウと、音を頼りにめぐり会えるでしょうか？

- ① 迷子役の一人がアイマスクを着けます。
- ② 音の出る好きなものを選び、4組のペアーがそれぞれ音だしと迷子役の二つに別れます。
- ③ 自分のアイボウがならず音を頼りに、迷子役がアイボウにたどり着いたら関門クリアーとなります。

【第2関門】車いすを押しにくねった道を行く

アイボウが転んでしまい歩けません。車いすを使って「ミケ」を探しに行きます。



- ① 曲がりくねった道に、段差があったり、石ころが転がり、時には自転車が邪魔しています。
- ② 一人が車いすに乗り、もう一人が車いすを押しします。
- ③ 決められたコースを通って、ゴールにたどり着いたらクリアーです。

【第3関門】通行手形を作ります



「ミケ」がいる街に入るには、この門を通らなければ行けません。この門を通るには通行手形が必要です。

通行手形
この手形を所持したものは、通行手形を渡す人、門番のみなさん、お通しください。
私の名前

- ① 急に声がなくなってしまう、名前をいっただきません。
- ② ひらがな50音の文字板を使って、門番に自分の名面を覚えてください。
- ③ 通行手形を作ったら、関門クリアーとなります。

「ハンディチャレンスクラブ」実施計画(案)

実施計画については、共同開催団体やイベント受け入れ団体と、検討を進めております。ほぼ決定できるレベルに達しているところもありますが、これからの進展状況において変更せざるを得ない場合も想定されます。実施時期・実施内容は、当初の予定に沿って開催したいと考えていますので、ご了承のほどお願いいたします。

1. 実施基本方針

- 1) 31年度に小学校での開催を念頭に、30年度は運営ノウハウの獲得と提供するメニューの開発を行います。
- 2) 体験対象のハンディは、視覚障がい、聴覚障がい、身体障がいに絞りに取り組めます。
- 3) 就学前児童パターン(4歳～6歳)、小学校低学年パターン(6歳～9歳)、みんな仲良しパターン(障がいの者と健常者が共に取り組む)の3タイプで、各1回づつ、体験会を実施します。
- 4) 30年度の到達目標として、狛江市とタイアップによる「障がいの者週間」に参加します。

2. 体験会実施計画

	小学校低学年	力を合わせて	未就学児	障がいの者週間
開催時期	7月初旬	8月中旬	10月初旬	12月8日
共同開催 開催場所	西野川こどもクラブ	「ナナの家」 障団連	狛江プレーパーク	狛江市 高齢障がい課 政策室オリパラ担当
予定 遊びメニュー	①暗闇の森で再会できるかな ②私の話を聞いてください ③車いすで街に出てみよう ④鈴入りボールでボーリング	①だるまさんが転んだ遊び ②パラスポーツ 「ボッチャ」大会 ③鈴入りボールでボーリング 要検討	①点字ブロックの迷路を歩いてみよう ②二人で車いす散歩 目の悪い方と足の悪い方が協力して車いすでお散歩をします。 ③ゼスチャャー借り物競争 ④ボッチャに挑戦しよう	①小学校低学年遊びから2つ ②未就学児遊びから2つ ③パラスポーツを体験 ★義足体験 ★陸上競技用車いす体験 ④電動車いすに試乗
募集人数 その他	学童在籍者 約30名	障がいの者:5名 健常者:5名	プレーパーク来園者 に事前申し込み 約20名	事前申し込みなし 市役所前広場来場者 中央公民館講演会と連動 100名

平成30年度狛江市市民公益活動事業支出予算明細書

団体名	狛江視覚障害者の会
事業名	ハンディチャレンジクラブ

初期設備支出

項 目	金 額	内 容
ゼッケン (ピブス)	11,700 円	12枚組¥3,900×3セット
車いす用スロープ 西河原公民館 木工を楽しむ会へ発注	8,000 円	2m×1.5m 勾配10/2000 2枚
軽量ミニ三角コーン	7,600 円	10個セット¥3,800×2セット
開場告知用のぼり旗+ポール	8,744 円	¥2,186×4枚
スタッフTシャツ	9,720 円	¥810×12枚
折り畳みテーブル	13,920 円	¥3,480×4脚
通信費	7,380 円	¥82×募集30通 アンケート60通
救急箱	4,500 円	
事務用品	2,000 円	
合 計	73,564 円	

小学校低学年編

項 目	金 額	内 容
告知・保護者連絡兼用チラシ	3,000 円	100枚
会場設営費	2,000 円	
保険料	2,320 円	¥58×40名
ミッションクリア証 兼 参加賞	6,000 円	¥200×30個
熱中症対策 水分補給	3,600 円	¥120×30本
暗闇の森で再会できるかな 鳴り物(笛・太鼓・鈴など)	864 円	¥108×8個
衛生使い切りアイマスク	3,240 円	¥108×30個
私の話を聞いてください 障がい者への謝礼	4,000 円	¥2,000×2名(男子・女子)
録音媒体	100 円	
車いすで街に出よう 車いすレンタル運送費	10,000 円	車いす2台×¥5,000
ブラインドサッカーでボウリング ボーリング・ピン製作費	1,000 円	10本2セット
合 計	36,124 円	

力を合わせて編

項目	金額	内容
観客動員用チラシ	5,000 円	300枚
会場費上和泉地域センター体育館	1,500 円	¥500×3枠
保険料	1,160 円	¥58×20名
参加賞	2,000 円	¥200×10個
衛生使い切りアイマスク	1,080 円	¥108×10個
だるまさんが転んだ用鈴	1,080 円	¥108×10個
熱中症対策 水分補給	3,600 円	¥120×30本
合計	15,420 円	

就学前児童編

項目	金額	内容
告知・保護者連絡兼用チラシ	5,000 円	300枚
会場設営費	2,000 円	
保険料	1,160 円	¥58×20名
ミッションクリア証 兼 参加賞	4,000 円	¥200×20個
点字ブロックレンタル料 (運賃)	6,200 円	片道¥3,600×2
車いすレンタル料 (運賃)	5,000 円	
熱中症対策 水分補給	2,400 円	¥120×20本
衛生使い切りアイマスク	2,160 円	¥108×20個
合計	27,920 円	

障がい者週間参加事業

項目	金額	内容
告知・保護者連絡兼用チラシ	16,400 円	500枚
会場設営費	4,000 円	
保険料	1,160 円	¥58×20名
ミッションクリア証 兼 参加賞	10,000 円	¥100×100個
点字ブロックレンタル料 (運賃)	6,200 円	片道¥3,600×2
車いすレンタル料 (運賃)	15,000 円	車いす 技用 バasket用 電動車いす
義足レンタル料 (運賃)	2,000 円	片道¥1,000
スタッフ謝礼	9,000 円	お弁当+飲み物=¥600×15名
合計	63,760 円	

平成30年度 狛江視覚障害者の会 予算

(単位:円)

総収入		総支出	
前年度繰越金	12,520	上部団体会費	26,000
年会費	31,000	「声の東京」購読料	3,000
身障協活動費助成	50,000	研修会・大会参加費	26,000
都盲協助成金	2,000	会員活動費	12,000
チャレンジ補助金	200,000	ハンディチャレンジクラブ活動費	216,788
寄付	16,788	事務用品費	10,000
		通信費	5,000
収入合計	312,308	支出合計	298,788
次年度繰越金 13,520			

ハンズ・プレイス

狛江市長 _____ 様

団体名 ハンズ・プレイス

代表者名 竹林 伸子

市民公益活動事業補助金 (チャレンジ補助金) 申請書 (30 年度)

事業名称	ハンズ・カフェ&講演会&交流会				
実施時期 (予定)	2018/8頃と2019/3頃				
交付要望額		8	0	0	0 円
事業内容 (事業の特色や期待される効果等)	西河原公民館、あいとびあ、民間の集会場にて、東京都で先進的活動 (NPOを設立、聴覚障害者のデイサービス、グループホーム、および地域生活支援センターを開催) をしている地域のリーダーを招いての設立までの経緯、反響、思いを語っていただき、カフェの中で交流を通して聴覚障害者、支援者、一般市民に情報発信をすると同時に、狛江市にあった支援の方法を探っていく。また、地域で活発な活動を展開、生活困窮者の支援を行うNPO団体に参加していただくことで、その手法を見聞きするだけでなく、地域の中で連携し協力しあう体制を作る。				

申込団体概要

団体名	ハンズ・プレイス				
代表者名	竹林 伸子				
所在地 (事務所等)	住所				
	電話	e-Mail			
	FAX	HP			
連絡担当者	氏名	電話			
	住所				
	e-Mail				
会員数	45 人 (うち市 37 人)	会費等	無・㊟ (年額・額)		1000 円
主な活動地域	狛江市	直近事業年度決算額 (支出総額) 29 年度	552627 円		
主な活動実績	① 高齢聴覚障害者への月2回のデイサービスランチ会、おしゃべりサロン②年2回、ハンズカフェ③ホームページ、毎月通信紙の情報発信				受付 愛付 30.5-7 狛江市市民生活部 地域活性課

【任意様式】

事業計画書

事業名所：ハンズ・カフェ & 講演会 & 交流会

事業の内容：

- ① 先進的地域の聴覚障害者への福祉の取り組みを知り、また交流することによってその技術や知識を学び、狛江市で活かせる社会資源や活動を知る。また、他地域との交流で、聴覚障害者、支援者が同じ思いを共有し、共感することで連帯感を生み、活動の幅を広げる。
- ② 同じ地域の、他のNPOの活動を知り、NPO取得の知識、経験を学び、さらに連携をすることで新しい社会資源を繋げ、構築することを目指す。

開催場所：西河原公民館、あいとびあ

対象者：聴覚障害者、支援者、及び一般市民

告知方法：ホームページ、こまえくぼ団体ページ、チラシ、パンフレット

実施スケジュール：

平成30年8月初旬 土曜日または日曜日 10:00~15:00
 平成31年3月下旬 土曜日 10:00~15:00

事業の自己PR：

1. 先進的であり、将来性のある事業であるかどうか。
 高齢聴覚障害者支援を中心に、若い当事者、支援者が協働で対等に学び、働ける場（カフェ）を設立するための起爆剤としてカフェ & 講演会 & 交流会を開催し、他からの支援を求めるだけでなく自ら生み出し、発信する力をつけていく。
 また、他障害者団体、NPO団体と交流し協力することで知識を高め、社会資源を広げる。
2. 市民のニーズや地域性に適合した特徴のある事業であるかどうか。
 他の地域では聴覚障害者が安心して、気楽に集い情報収集できる拠点があるところが多いが、当市にはそれがなく顕在化していなかった。しかし高齢化が進み、一人暮らしの高齢聴覚障害者が増え、安心して情報交換できる場所、見守る体制が望まれるようになったがそのような社会資源減は見当たらない。
 狛江市には手話に関係する団体だけでなく、要約筆記を養成できる基盤があるため、これらの力と狛江の地域力であるボランティア力の協力で狛江市独自の拠点を築いていく。
3. 事業計画及び収支予算に現実性があり、自助努力の工夫がなされているか。

昨年、スタート補助金を利用し、カフェを開いた結果50人近くの人が集まり、会員数が現在の数に至った。会費も少なく、ほぼボランティアの協力で行っている事業だが、ボランティアの集いへの参加、その他フリーマーケットを開催し、基盤づくりを強化していく。

4. 事業の実施により相当の効果が期待できるかどうか。

昨年の、カフェ開催とホームページ、こまえくぼ1234の紹介による連動で、かなりの名前が知られるようにはなっている。ハンズプレイス通信、わっこでの掲載で問い合わせもあり、毎回、きちんと開催し、実績成果を証明することによって、安心して参加できる団体であることを知らせることができる。

5. 事業を行う団体が、将来自立して活動できる可能性が期待できるかどうか。

この事業を開催することで、安心と信用を参加者に与え、同じ障害を持つもの自身が自信を得て働ける場所作りに参加し、たくさんの人たちの協力と理解を得られれば「ハンズ・カフェ」独自事業として成立すると考える。

6. 前年度の補助事業が適切、効果的に実施され、当初の目的ができていくかどうか。

初年度は、ハンズカフェに好奇心から参加してくれた当事者、協力者、地域住民が、ハンズプレイスの存在意義を理解し自主的に参加、活動してくれている。結果、会員数が当初5人でスタートしたが現在45人となっている。昨年度は参加者のニーズから熱中症講座、栄養講座、パソコン講座、電話リレーサービスの説明会などを開き実際の生活に生かしていただいている。

7. 前年度の事業を踏まえ、新しい事業展開がみられるかどうか。

聴覚障害者のニーズの高まりと、支援者の協力を得て新しい経営スタイルの拠点づくりを今年度中に行う予定である。具体的には、拠点となるカフェをオープンし、午前中は聴覚障害者関係団体の事務所、会議室に使っていただき（昨年助成金等で購入した機材は無料貸し出し）、午後はカフェを開店、この収益をもって高齢者のデイサービス・ランチ会、おしゃべり会を開催し、また家賃に充てる予定である。

【任意様式】

平成30年度狛江市市民公益活動事業補助金

＜申請事業収支予算書＞

団体名	ハズ・プレイス
事業名	ハズ・カフェ&講演会&交流会

＜収入の部＞

項目	金額	内容
市民公益活動事業補助金	80,000 円	
参加費	5,000 円	参加費100円(お茶代)×50人
会費より	15,000 円	
	円	
	円	
	円	
合計	100,000 円	

＜支出の部＞

項目	金額	内容
講師3人	60,000 円	講師20000×3人
交通費	8,000 円	講師2000×3人、その他
印刷代	12,000 円	パンフレット・チラシ
飲み物代	3,000 円	お茶、コーヒー等
雑費	2,000 円	カップ、お皿、ペーパー等
送迎・ボランティア交通費	15,000 円	500×10人×3回(打合せ込み)
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合計	100,000 円	

平成30年度 ハンズ・プレイス 会計予算案

平成30年4月1日～平成30年月日

1. 会計

(収入の部)

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
会費	50,000			
助成金)	200,000			
寄付金	30,000			
繰越金	26,596			
雑収入	43,404			ランチ代
合計	350,000	0	350,000	

(支出の部)

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
会議費	10,000			
総合運営費	10,000			
会議費	20,000			あいとびあ・衛生講座等
需用費	25,000			コピー用紙・印刷代
印刷代	25,000			
消耗品費	10,000			
備品費	0			
設備費	10,000			
通信PR費	10,000			
機材	70,000			プロジェクター・スクリーン
活動費	50,000			
食材費	50,000			
容器代等雑費	15,000			
手作り材料費	10,000			
講師謝礼	50,000			
講師交通費	5,000			
送迎ボラ交通費	50,000			
助成金				
負担金				
積立金	10,000			郵便貯金
予備費	15,000			
合計	350,000	0	0	

差引残高 0円は、平成00年度に繰越いたします。

2. 助成金等

項目	収入	支出	比較増減	摘要
あいとびあ助成金				
市民公益活動補助金	50,000			
オラクル有志の会	150,000			
合計	200,000	0	200,000	

上記のとおり、報告いたします。

平成00年00月00日 会計 ○○ ○○

監査の結果、上記報告書に間違いのないことを報告いたします。

平成00年00月00日 会計監査 ○○ ○○○

狛江市邦楽連盟

平成30年 5月 7日

狛江市長 高橋 都彦 様


団体名 狛江市邦楽連盟

代表者名 嶋田昭悦

市民公益活動事業補助金(チャレンジ補助金)申請書(平成30年度)

事業名称	未来へ続け!児童民謡、舞踊チャレンジ講習会・発表会				
実施時期(予定)	平成30年6月2日~平成31年3月31日				
交付要望額	2	0	0	0	0 円
事業内容 (事業の特色や期待される効果等)	日本古来の伝統文化である民謡、舞踊にチャレンジしたい狛江市内の児童を対象に募集し、プロ民謡歌手、舞踊指導者の指導により講習会を実施する。 本年はその成果を9月17日「第43回邦楽の集い」にて発表する他、市民祭りステージ、イベント西河原に於いて市民の皆さまに発表する。当講習会を受講した児童たちが、民謡、舞踊を後世に伝え継がれることを期待している。				

申込団体概要

団体名	狛江市邦楽連盟				
代表者名	嶋田昭悦				
所在地 (事務所等)	住所				
	電話		e-Mail		
	FAX		HP		
連絡担当者	氏名			電話	
	住所				
	e-Mail				
会員数	130 人 (うち市内 100 人)	会費等	無・有(年額・月額)	1 団体 5,000 円	
主な活動地域	狛江市内	直近事業年度決算額 (支出総額) 29年度	1,001,210 円		
主な活動実績	邦楽の集い(年1回) 市民祭りステージ(年1回) イベント西河原(年1回)				受付印
					

事業計画書

1. 事業名称 未来へ続け！児童民謡、舞踊チャレンジ講習会・発表会
2. 事業内容 日本古来の伝統文化である民謡にチャレンジしたい狛江市内の児童（小学生）を対象に募集する。プロ民謡歌手、舞踊家の指導により講習会を実施する。

講習会・発表会を通じて次世代に伝え継がれることを期待している。
3. 指導方法 ①民謡はプロの民謡歌手。

②舞踊は舞踊指導員
4. 募集対象者 狛江市内小学生
5. 告知方法 狛江市教育委員会学校教育課を通じて各小学校にチラシを配布し、公募する。

「わっこ」に募集の掲載を依頼する。
6. 講習会開催 中央公民館、西河原公民館などに於いて、6月2日（土）より8回程度計画している。
7. 事業発表 第43回邦楽の集い（エコルマホール）、市民祭り（第1小学校）イベント西河原（西河原公民館ホール）
8. 最近の動向 本事業は本年で3年目となります。仕上げの年として、児童だけで独立できるよう指導していきたいと考えています。

平成30年度狛江市市民公益活動事業補助金

〈申請事業収支予算書〉

団体名	狛江市邦楽連盟
事業名	児童民謡舞踊チャレンジ講習会・発表会

〈収入の部〉

(金額単位:円)

科 目	金 額	摘 要
狛江市公益活動事業補助金	200,000	チャレンジ補助金
会費収入	26,000	13加盟団体×2,000=26,000
合 計	226,000	

〈支出の部〉

(金額単位:円)

科 目	金 額	摘 要
エコルマホール使用料	64,000	ホール使用料64,000(前年同額)
講習会会場借料	6,000	公民館 500×6回=3,000 " 1,000×3回=3,000
印刷費	86,000	邦楽の集い及び少年少女民謡舞踊発表会プログラムポスター、チラシ(前年同額)
外部講師謝金	50,000	民謡指導料5,000×5回=25,000 民舞指導料5,000×5回=25,000
通信費	5,000	ハガキ、切手代
消耗品費	10,000	用紙、資料コピー、インク代
損害保険料	5,000	対人保険
合 計	226,000	

平成30年度事業収入支出予算書

(狛江市邦楽連盟)

(平成30年4月1日～31年3月31日)

1. 収入の部

(金額単位:円)

科目 項目	総勘定 金額	一般勘定 金額	補助金勘定 金額	摘要
前期繰越金	75,176	75,176		
年会費収入	65,000	65,000		年会費5,000×13団体=65,000
補助金収入	200,000		200,000	市民公益活動補助事業(チャレンジ補助金)
邦楽の集い出演料	390,000	390,000		出演料30,000×13団体=390,000
広告料収入	25,000	25,000		前年同
雑収入	10,000	10,000		祝儀他
補助金勘定へ	26,000		26,000	特別会費2,000×13団体=26,000
イベント西河原出演料	36,000	36,000		出演料3,000×12団体=36,000
収入合計	827,176	601,176	226,000	
2. 支出の部				
項目	金額	金額	金額	摘要
エコルマホール使用料	164,000	100,000	64,000	※エコルマホール使用料及び予約金(前年同)
ホール付帯経費	187,000	187,000		舞台照明(共立)97,200(前年同) 舞台ザリア30,000×3人=90,000
生花代	30,000	30,000		舞台用
謝金	110,000	60,000	50,000	司会20,000、プロ歌手名40,000、 ※民謡講習会指導料5,000×5回=25,000 ※舞踊講習会指導料5,000×5回=25,000
印刷費	86,000		86,000	※邦楽プログラム・ポスター86,000(前年同)
会議費	50,000	50,000		前年同
渉外費	20,000	20,000		祝儀、市民祭り経費等(前年同)
協賛・負担金	20,000	20,000		文化協議会10,000、市民まつり10,000
事務費	61,000	40,000	21,000	※会議室借料6,000※通信費5,000 ※消耗 品費10,000、他事務諸費 図書カード1,000 ×20名=20,000
損害保険料	5,000		5,000	※(株)新都心エージェンシー
イベント西河原運営費	36,000	36,000		司会、プログラム等
次期繰越金	58,176	58,176		
支出合計	827,176	601,176	226,000	(注)摘要の※印は補助金支出